

システム監査学会2012年度第26回研究大会

システム監査用語 研究プロジェクト報告

2012年6月8日

城西国際大学

本田実

目次

1. 研究プロジェクトメンバー
2. 活動状況
3. 研究プロジェクトの目的
4. 用語の対象範囲
5. 参考資料
6. 研究プロジェクトの論点
7. 基本方針
8. 現在の用語定義について
9. 新しい用語の候補
10. 今後の課題

1. 研究プロジェクトメンバ

氏名	所属	備考
大島 誠	みずほ情報総研株式会社	
片谷 緑	三井情報株式会社	
城村 翔太郎	株式会社アスカ	
隈元 慶幸	堀総合法律事務所	オブザーバ、弁護士
新開 智之	監査法人コスモス	オブザーバ、公認会計士
中田 猛	古河インフォメーションテクノロジー株式会社	
中村 晴夫	MS&ADシステムズ株式会社	
細野 浩一郎	日本銀行	
本田 実	城西国際大学	研究プロジェクト主査
芳仲 宏	システム監査学会理事	
矢吹 巧	ITコンサルタント	

2. 活動状況

- 平成23年7月29日より11回開催
 時間は18時半から20時半
- 場所は城西国際大学紀尾井町キャンパス
- 出席メンバは平均5名から8名程度
- 各自分担した用語の定義、解説の作成及び発表(1人当たり10用語～20用語)
- 1用語あたり3回ほどのレビュー
- 用語集の構成、まとめ方について議論
- 区切りごとに懇親会

3. 研究プロジェクトの目的

- 現状の「システム監査用語の定義と解説」の見直し
- 監査関連標準化、法制度の用語の定義の整理
- システム監査技術者試験の受験用用語集



- システム監査学会のHPへの掲載
⇒ システム監査学会のHPのアクセス回数の増加
- システム監査技術者試験シラバスの見直し
⇒ システム監査技術者育成に寄与
- システム監査のナレッジDB構築
⇒ システム監査人への情報・ナレッジ提供
⇒ システム監査学会員への詳細情報・ナレッジ提供

4. 用語の対象範囲

- 「システム監査用語の定義と解説(平成17年6月版)」
- システム監査制度
- 情報セキュリティ監査制度
- システム監査技術者試験(レベル4)シラバスver2.0
- 共通フレーム2007
- JIS情報処理関連
- ISO/IEC情報処理関連
- 情報関連法制度
- その他システム監査関連用語

5. 参考資料(1)

- システム監査用語の定義と解説(平成17年6月)
- システム監査基準(平成16年10月)
- システム管理基準(平成16年10月)
- システム管理基準追補版(平成19年3月)
- 情報セキュリティ監査基準(平成15年4月)
- 情報セキュリティ管理基準(平成20年11月)
- システム監査技術者試験(レベル4)シラバス(平成21年3月)
- 共通フレーム2007第2版(平成21年10月)

5. 参考資料(2)

- JIS X 0001:1994 情報処理用語 基本用語
- JIS X 0008:2001 情報処理用語－セキュリティ
- JIS X 0014:1999 情報処理用語－信頼性、保守性及び可用性
- JIS X 0020:1992 情報処理用語(システム開発)
- JIS X 0160-1996 ソフトウェアライフサイクルプロセス
- JIS X 0170:2004 システムライフサイクルプロセス
- JIS Q 2001:2001 リスクマネジメントシステム構築のための指針
- JIS Q 15001:2006 個人情報保護マネジメントシステム－要求事項

5. 参考資料(3)

- JIS Q 10002:2005 品質マネジメント—顧客満足—組織における苦情対応のための指針
- JIS Q 10006:2004 品質マネジメントシステム—プロジェクトにおける品質マネジメントの指針
- JIS Q 13335-1:2006 情報技術—セキュリティ技術
- JIS Q 20000-1:2007 情報技術—サービスマネジメント—第1部:仕様
- JIS Q 27001:2006 情報技術—セキュリティ技術—情報セキュリティマネジメントシステム—要求事項

5. 参考資料(4)

- ISO/IEC38500 企業のITガバナンス
- コーポレート・ガバナンスと内部統制(経済産業省企業行動課編)(平成19年1月)
- 監査基準(平成21年4月改訂)
- 内部監査基準(平成16年6月改訂)
- 内部監査基準実践要綱(平成18年6月改訂)
- 財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準のありかたについて(平成17年12月)
- 金融商品取引法(平成21年7月改正)
- 会社法(平成21年7月改正)

5. 参考資料(5)

- 企業統治研究会報告書(企業統治研究会)(平成21年6月)
- 情報セキュリティ監査手続ガイドライン(経済産業省)(平成21年7月)
- JIS X 0129-1:2003 ソフトウェア製品の品質—第1部:品質モデル

6. 研究プロジェクトの論点(1)

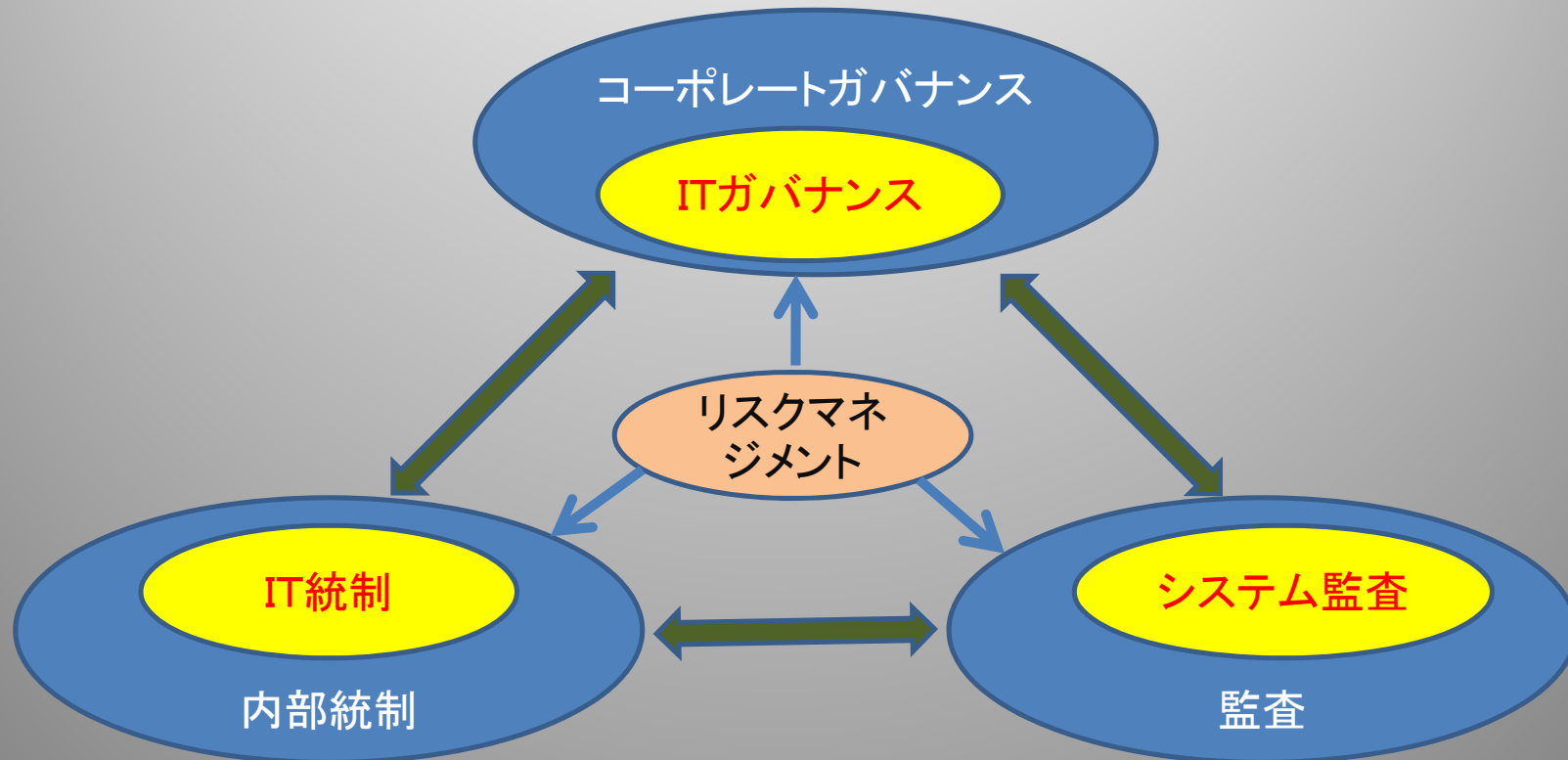
- コーポレートガバナンス、内部統制、監査の関係
- ITガバナンス、IT統制、システム監査の関係
- ITガバナンス、IT統制、システム監査とリスクマネジメントの関係
- システム監査と情報セキュリティ監査の関係
- 業務監査、会計監査とシステム監査の関係

6. 研究プロジェクトの論点(2)

コーポレートガバナンス、内部統制、監査の関係

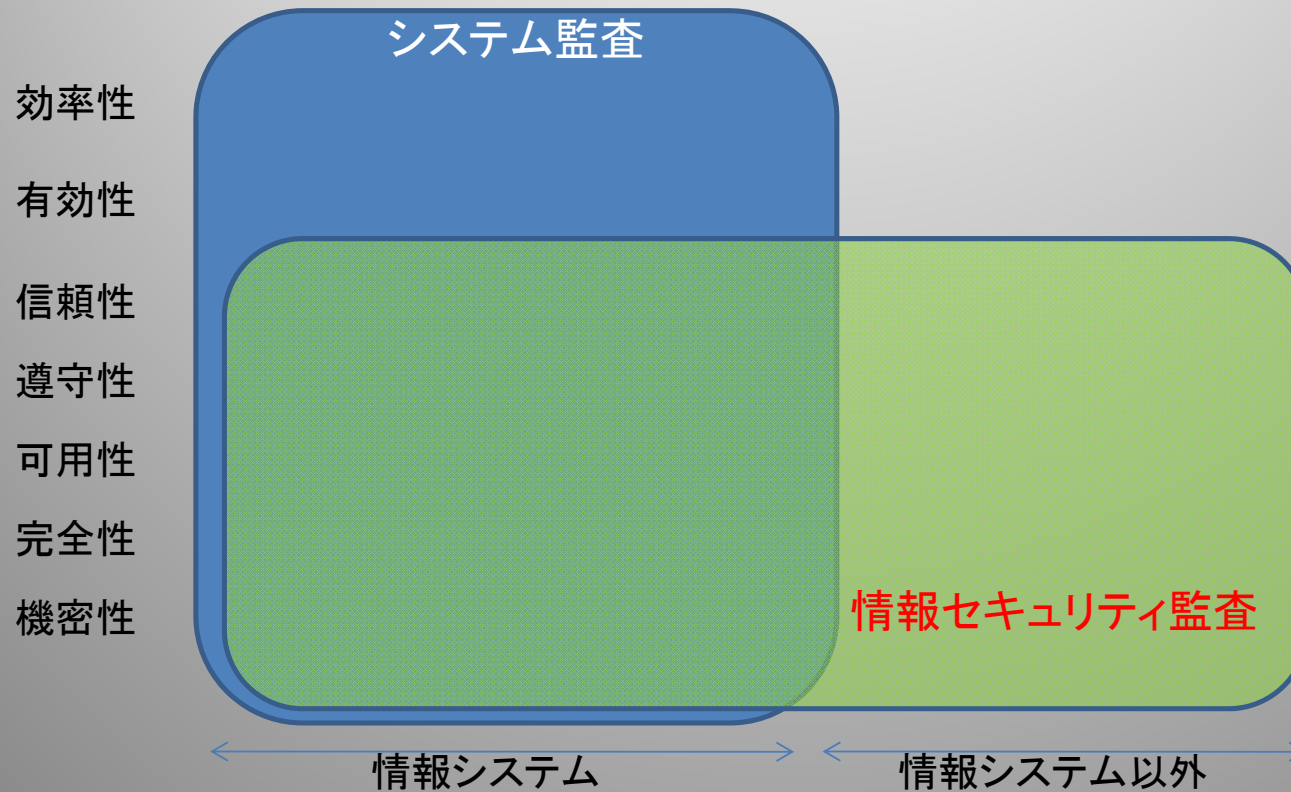
ITガバナンス、IT統制、システム監査の関係

ITガバナンス、IT統制、システム監査とリスクマネジメントの関係



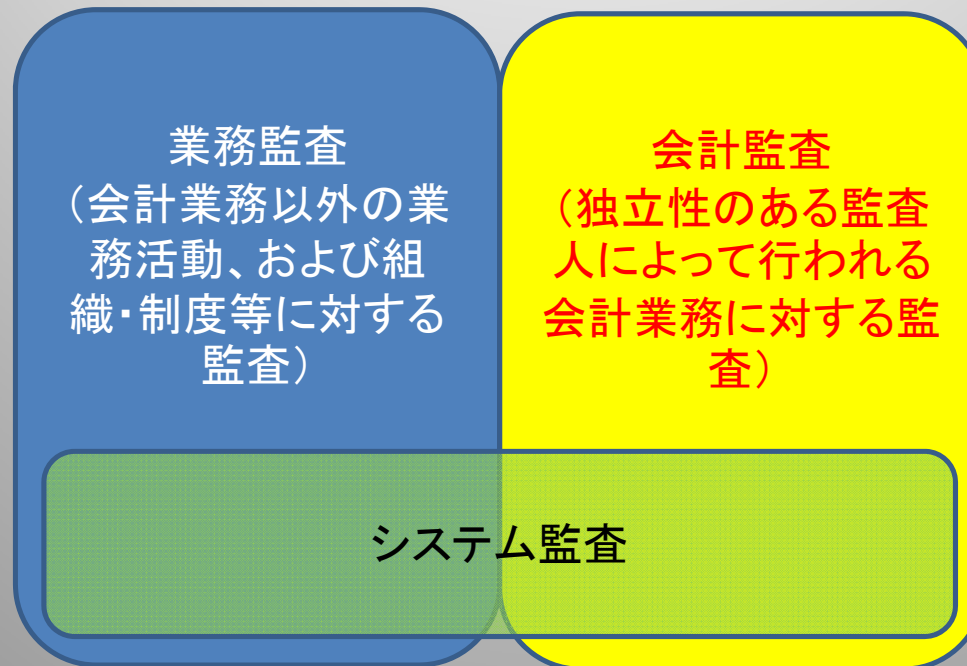
6. 研究プロジェクトの論点(3)

システム監査と情報セキュリティ監査の関係



6. 研究プロジェクトの論点(4)

業務監査、会計監査とシステム監査の関係



7. 基本方針(1)

- 現行の「システム監査用語の定義と解説」は、基本的に参照文献等が古くなったもの、用語そのものの解釈が新しくなったもの等を見直す。
- 解説は簡潔明瞭に記述する。
1用語あたり400字～1000字程度とする。
- 用語の出現順位を「アイウエオ」順とし、索引を追加する。
- 用語の定義の優先順位は、システム監査基準・管理基準、**情報セキュリティ監査制度**、システム監査技術者試験シラバス、共通フレーム2007、JIS、法制度とする。
- なお、必要があれば、定義もしくは解説部分に併記する。

7. 基本方針(2)

- 用語相互に包含関係のある場合、用語として独立に定義せずに重要度の高い用語の中で説明するに留めるものもある。
- JISでは、用語の定義には複数ある場合があるが、よりシステム監査に近いものを採用する。
- 解説に参照しているURL、文献などの内容を記述する場合は、要約程度とし、参照のURLや文献名を記載するにとどめる。

8. 用語定義の改訂について(1)

- 当初、139用語中37用語が見直し、もしくは確認が必要と考えていたが、62用語が見直しとなった。
- 以下の用語を追加・変更した。
 - ①「助言と保証」を「助言」と「保証」に分割
 - ②「業務処理統制」を「IT業務処理統制」に変更
 - ③「全般統制」を「IT全般統制」に変更
 - ④「暗号」を「暗号化」に変更
 - ⑤「コンピュータ犯罪」の他に「サイバー犯罪」を追加

8. 用語定義の改訂について(2)

- 9用語を削除した。

経営監査

:不要と判断した。

公認会計士監査

:不要と判断した。

監査依頼者

:不要と判断した。

経済性

:不要と判断した。

戦略性

:不要と判断した。

電子政府と電子自治体

:用語とは言いにくい。

ビジネスモデル特許

:最近あまり使用されていない。

情報セキュリティスタンダード:最近あまり使用されていない。

情報セキュリティプロシジャ-:最近あまり使用されていない。

9. 新しく追加した用語(1)

- 経営分野(15用語)

コーポレートガバナンス、IT統制、IT全社的統制、ビジネスリスク、リスクアプローチ、リスクアプローチ監査、ITIL、経営計画、経営戦略、経営目標、事業継続計画、情報システム計画、情報戦略、採算性、CSA

- システム監査分野(9用語)

システム監査技法、一般基準、実施基準、報告基準、外観上の独立性、精神上的の独立性、情報セキュリティ監査基準、保証意見、報告基準

9. 新しい用語の候補(2)

- 監査分野(12用語)

監査時期、監査資源、監査責任者、監査日程、監査の手順、コントロール、サブコントロール、サンプリング、アサーション、除外事項、制約、品質管理

- 法制度分野(4用語)

個人情報保護関連法規、知的財産権関連、コンプライアンス、デジタルフォレンジックス

10. 用語集の内容

- 現行の用語集
 - 用語の名称(英語名)
 - 定義
 - 解説
- 新用語集(アイウエオ順に表示)
 - 用語の名称
 - 用語のカナ名
 - 英語名
 - 区分(例えば、システム監査、監査、法制度)
 - 定義または意味
 - 解説または説明

11. 今後の方向

- システム監査用語研究プロジェクトは今回で終了
- プロジェクトの成果物は、システム監査学会の「システム監査用語説明」ドラフト版として、HP等に掲載予定
- システム監査学会のシステム監査コンテンツ委員会システム監査用語部会で審議し、システム監査学会としてHP等に掲載予定
- システム監査用語は定期的(2~3年毎)に改訂予定
- 新研究プロジェクト「共通フレームをベースとしたシステム管理基準検討」において、システム監査用語の検証を行う

最後に

- ご清聴ありがとうございました。